

講義科目名称： 専門ゼミナール I

授業コード： 1650500200

英文科目名称： Special Nursing Seminar I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	必修
担当教員			
◎堀江 正男、◎岡村典子、◎石田和子、◎常盤洋子、◎大久保明子、◎小長谷百絵、◎谷本千恵、◎高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 共通基礎系・看護系教員（教授、准教授、講師、助教で担当）</p> <p>◎堀江 正男（共通基礎系） 315</p> <p>◎岡村 典子（基礎看護学） 216</p> <p>◎石田 和子（成人看護学） 317</p> <p>◎常盤 洋子（母性看護学・助産学） 320</p> <p>◎大久保 明子（小児看護学） 207</p> <p>◎小長谷 百絵（老年看護学） 213</p> <p>◎谷本 千恵（精神看護学） 312</p> <p>◎高林 知佳子（地域看護学） 304</p> <p>実務経験のある教員が担当します</p> <p>【研究室】</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 ◎</p>
------	---

到達目標	<p>1. 関連文献の系統的収集およびレビュー、ゼミナールでのディスカッションを通して、取り組む研究課題を明確にできる。</p> <p>2. 研究課題に沿った研究方法を検討し、研究計画書を作成できる。</p>
授業概要	看護研究法で学んだ内容を基盤に、小人数のゼミナール形式で文献抄読、研究動機やテーマに関するディスカッションを行うことにより、研究テーマの明確化をはかりつつ、研究計画書を作成する。
授業計画	<p>1-15 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：看護研究の意義を理解し、研究計画を作成する。</p> <p>学習内容：各領域に配属され、担当する教員やグループメンバーとのディスカッションを通して自らの学びを深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関心のある研究課題について既存研究を系統的に収集する。</li> <li>2. 収集した論文を理解し、整理・統合する。</li> <li>3. 自分が取り組む研究課題を明確に記述する。</li> <li>4. 研究の目的・目標・意義・方法を具体的に記述する。</li> <li>5. 研究を行う上での倫理的側面を理解し、実施すべき事項を記述する。</li> </ol> <p>備考：</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：看護研究法の講義内容の復習</p> <p>事後学習：取り組む研究テーマに関連した学習</p>
評価方法、評価基準	研究計画書の作成状況75% ゼミナールへの貢献度（発表内容、ディスカッションへの貢献度）25% 評価は各領域の担当教員が責任を持つ。
必携図書	特に指定しない。
参考図書・資料等	各教員より適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	各ゼミナールの開始時の指示に従うこと。
教員からのメッセージ	研究は、看護専門職として働くうえで、重要な要素の一つです。1年間のゼミナールを通して、これらの基礎的能力を身につけましょう。できるだけ多くの看護研究論文を読むことをお勧めします。
オフィスアワー	